



セミナー案内・報告 Seminar Information And Activity Report

ここでは、近畿地区手術看護認定看護師会が主催するセミナー案内と、開催後のセミナー報告を行っています。

近畿地区手術看護認定看護師会主催のWEBセミナーへのアクセスはバナーをクリック↓



▶セミナー案内

セミナー名をクリックすると詳細画面に移動します。

[WEBセミナープライバシーポリシー](#)

[セミナー予定日に災害・WEB障害などによる中止基準に関してはこちらをご参照下さい](#)
原則、中止連絡当会HPのTOP画面もしくはLine@でインフォメーションがあります(個人メールには連絡がありません)

2020年度セミナー予定

テーマ：第4回 実践に活かす手術体位固定セミナー -手術看護認定看護師と考えよう！-

日時 : 2020年11月28日(土)10:00-12:20
対象 : 手術室看護師 ※日本手術看護学会 クリニカルラダー レベルI・IIに該当する方
※ビデオオンでご参加いただける方
場所 : Zoomを使用したオンライン WEBセミナー
主催 : 増田医科器械
担当 : 京滋ブロック
申込み : 上記「テーマ」をクリックするとセミナー詳細が出てきます。
詳細を確認した上でこちらから申し込み下さい。
申し込み期日11月26日 11月25日に参加定員に達しました。数多くの申し込みありがとうございました。

テーマ：手術室の看護って-事例を通して器械出し看護師の看護展開と役割を考える-

視聴期間 : 2021年1月28日(木)~2021年2月3日(木)
対象 : 手術室経験1年未満の看護師
場所 : WEBセミナー(オンデマンド配信)
担当 : 兵庫ブロック
申込み : WEBセミナーシステム<http://webinar.kinkiperiopcn.com/wp-kpcna>
申込期限 : 2020年12月28日~2021年1月20日
申し込み期日がホームページ(1月20日)とLINE(1月18日)で異なっていることが判明いたしました。
大変申し訳ありませんでした。
期日を1月20日とさせていただきます。
問い合わせ : フォームより問い合わせください<https://forms.gle/cwPTWdQ8ZyzsriZRA>

テーマ：手術室の看護って? -外回り看護師に求められる情報収集・アセスメントから考える-

視聴期間 : 2021年3月25日(木)~4月14日(水)
対象 : 手術室経験1年未満の看護師(対象の経験年数以上の参加可能)
場所 : WEBセミナー(オンデマンド配信)
担当 : 兵庫ブロック
申込み : WEBセミナーシステム<http://webinar.kinkiperiopcn.com/wp-kpcna>
申込期限 : 2021年2月25日(木)~3月15日(月)
問い合わせ : フォームよりお問い合わせください<https://forms.gle/cwPTWdQ8ZyzsriZRA>

テーマ：仮) 明日から活かせる小児手術看護①情報収集②麻酔看護③プレバレーション

日時 : 2021年未定(X)XX :XX-XX:XX
対象 : 小児手術看護に興味のある看護師
場所 : WEBセミナー(オンデマンド配信)
担当 : 兵庫ブロック
申込み : WEBセミナーシステム(後日案内予定)

テーマ：未定

日時 : 202X年X月X日(X)XX :XX-XX:XX
対象 : XXXX
場所 : XXXX
担当 : 大阪奈良和歌山ブロック
申込み : XXXX

▶セミナー報告

京都滋賀ブロック

第4回 実践に活かす手術体位固定セミナー ～手術看護認定看護師と考えよう！～ 2020年11月28日（土）in ZOOM 京都

毎年恒例となった「体位セミナー」ですが、今年は開催を断念せざるを得ない状況でした。それでも、毎年多くの参加者の方々から好評を頂くこのセミナーをなんとか開催できないかと、京滋認定看護師会のメンバーや主催企業の担当者の皆様と知恵を絞り、新しい形で行うことになりました。京滋認定看護師会として初めて行うオンラインでのセミナーであり、上手くいくか不安もありましたが、結果としては大きなトラブルもなく終えることができました。

セミナーは、オンラインでの動画配信がメインとなりました。体位についての基礎知識や、各体位の基礎事項などの講義と、実際に体位をとっている動画をそれぞれ上映しました。各セッションの間には質問コーナーを設け、チャットでの質問を受け付けるなど、参加者の皆さんの疑問にリアルタイムで答えるシステムを取り入れました。また、京滋地区のセミナーでは毎度恒例になっている、参加者同士の情報共有の場も設けました。いろいろな施設の方たちと話すことができ、「ちょっと聞いてみよう」ということを話しやすい雰囲気でも盛り上がることができました。

オンラインでは、実際に体位を取ってみるハンズオンを行うことはできませんが、普段こうしたセミナーに参加が難しい遠方の方や、時間的に余裕がない方にも気軽に参加して頂ける利点もあります。これからの時代に合ったセミナーの在り方を取り入れ、参加者の皆さんと一緒に楽しんで学んでいける機会を作っていきたいと思っております。

担当 京滋地区手術看護認定看護師会 川原美穂子



大阪奈良和歌山ブロック

「手術室看護師が知っておくべき術前評価のポイント」2019年11月30日（土）in大阪

2019年11月30日、株式会社ホギメディカル大阪支社会議室にて、「手術室看護師が知っておくべき術前評価のポイント」をテーマとして、大阪奈良和歌山ブロックセミナーを行いました。ラダーレベルⅠ・Ⅱの手術室看護師の方々を対象に、「周術期における問診による情報収集の必要性を理解することができる。」「周術期に求められるアセスメントの必要性が理解できる。」を目的として開催いたしました。ちょうど4月に配属された新人看護師の方々が、手術看護を一通り覚え、これから自己研鑽しながら様々な手術を経験する時期ということもあり、セミナー開催約1か月前には50名の定員数は到達してしまい、参加出来なかった方々に、この場をお借りして深謝させていただきます。参加者の皆様は、新人看護師の方々のみならず、一定の手術室経験がある方も参加して頂き、大変有意義な一日となりました。セミナーは、問題事例の動画を用いてグループでディスカッションを行い、その後講義による事例の解説を行い、参加者の学びを深めました。参加者からは、「とても、分かりやすかった」「術前訪問での問診が学べた」「とても有意義な一日だった」などの感想を頂き、アンケートの結果からも多くの参加者から良い評価を頂きました。今回は、フィジカルアセスメントの中でも「問診」をテーマに行いましたが、今後ブロックセミナーの中で「視診」「触診」などシリーズ化して皆様とともに、学びの場を作っていきたいと考えております。認定看護師として考え目指すことは、手術看護の質の向上です。今後フィジカルアセスメントを日々の現場で活用して頂き、患者様へ還元できれば幸いです。

地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 野瀬 珠美



兵庫ブロック

「手術看護ビギナーズリフレッシュセミナー」2019年9月7日（土）in 兵庫

昨年に引き続き手術室経験半年程度の看護師を対象に、リフレッシュセミナー「器械出し看護師の役割について」を開催し、27名の方が参加しました。

手術室に配属されて半年ほど経過すると、日頃の自分が成長しているのか不安に思い、新たな課題が続くことが多いです。

今回のセミナーでは器械出し看護の役割を振り返り、意見交換をするなかで、自己の不安や悩みを共有し成長を肯定的に捉えることを目標にしました。一つの事例を基に器械出し看護師としての看護計画・倫理・安全などについて講義とグループワークを行いました。他施設の手術室看護師と情報共有や意見交換を行うなかで、改めて自分自身の器械出し看護について振り返る機会となりました。

セミナー参加者からは、「ほかの人からの意見を聞いて、今実践している事が看護であると共感できた」「入職時に比べ、出来る看護が増えていた」「特殊な部署なので、他の施設の人と話して共感、解決できてよかった」といった前向きな意見があり、他者と共感しながらリフレッシュできたと思われました。同じような環境にある手術室看護師と情報共有や意見交換を行うことは、客観的に自分自身を振り返り、不安や悩みと向き合いながら自身の成長を認める機会になっています。

またセミナー最後には各自の今後の課題や目標を発表し合うことが出来たので、参加者自身が施設に戻ってからの看護実践に繋げていってほしいと思っております。



京都滋賀ブロック

「周術期看護のアセスメント力を高めよう～事例を通して見えること～」2019年12月7日（土）in 京都



12月7日に（土）に京都・滋賀ブロックセミナーを開催しました。これまでの京都・滋賀セミナーのアンケートから、アセスメントをテーマにしたセミナーの要望も多く、今回、ラダーレベルⅠ～Ⅱの方を対象に、「周術期看護のアセスメント力を高めよう～事例を通して見えること～」をテーマにセミナーを開催しました。暖冬とはいえ底冷えのする京都の寒さの中、47名の方々にご参加いただきました。

セミナーは、全身麻酔の基礎講義から始まり、事例をもとに術前の情報から考えられるリスクや問題点をグループワークで話し合いました。術前では、カルテからの情報に加え術前訪問も大きな情報源であり、どこに看護・観察のポイントをおいて手術に望むのかを示し、術中は、モニターの時系列からいつ見る、何を注意するかを伝え、明日からの実践に活かせる「差をつける」アセスメントポイントを解説しました。術後は、術中からの引き継ぎや病棟での看護の視点も踏まえた内容の講義でした。講義後は、他施設の参加者と



情報交換会をおこない、自分たちの境遇や悩み、不安などを共有できる良い機会となりました。

アンケートからは、「術前・術中・術後に分けて具体的な看護の説明や観察項目の説明があり何を見てアセスメントすると良いかわかりやすかった」「色々な視点でみることができ勉強になった」「知識を深めることができた。ポイントがわかった」などの前向きな意見が多く、現段階の参加者レベルに合った内容であり、日々自分たちが行っている看護を振り返る良い機会となりました。また、情報交換会では、「他施設のことを聞き不安の軽減に繋がった」「同期がいなく自分の思いに共感してもらえて嬉しく感じた」などの意見があり、同様の悩みや不安を共有することで少しでも明日からの活力になる機会が提供できたのではないかと思います。

まだ外回り看護を実践していない参加者や日々の看護の中でアセスメントに悩んでいる参加者も多く、今回の研修で得た知識を周術期看護の実践で活かし、今後益々活躍してもらえることを期待しています。

担当 社会医療法人 誠光会 草津総合病院 手術看護認定看護師 山田真己

過去セミナー開催一覧

[2016年度](#)

[2017年度](#)

[2018年度](#)

[2019年度](#)

